

# 平成27年度 大規模津波総合防災訓練に参加



総務省北陸総合通信局（局長 星 克明（ほし かつあき））及び信越総合通信局（局長 岡崎 毅（おかざき つよし））は、11月7日、国土交通省、新潟県、新潟市及び聖籠町が主催、北陸防災連絡会議が共催する「平成27年度大規模津波防災総合訓練」に参加しました。

大規模津波防災総合訓練は、平成16年12月に発生したスマトラ島沖大地震に伴うインド洋津波災害を契機とし、平成17年度からほぼ毎年実施しているもので、本年は日本海側では初めてとなる新潟県聖籠町の新潟東港をメイン会場に、94機関、約4500人が参加して行われました。

訓練は、秋田県沖を震源にマグニチュード8.0の地震が発生、下越と佐渡で震度7を観測、新潟市に最大5mの津波が到達したとの想定で行われ、山本順三・国土交通副大臣の開会あいさつを皮切りに、各機関による訓練が開始されました。

北陸総合通信局と信越総合通信局では、災害対策用移動通信機器（衛星携帯電話、移動無線機等）の展示を行ったほか、（1）Lアラート、（2）災害対策用移動電源車、（3）臨時災害放送局についてのパネル展示を行い、総合通信局が行う防災対策支援についてアピールしました。



臨時災害放送局の開局を想定した「エフエムしばた」のブース

また、地元のコミュニティ放送局である（株）エフエムしばたは、臨時災害放送局開設を想定して、訓練の様態を中継しました。

当日は天候にも恵まれて多数の来場者があり、総合通信局のブースには訓練参加機関の関係者のほか、一般来場者も多数訪れ、担当者からの災害対策用移動通信機器など説明を熱心に聞いていました。



通信機器やパネルを展示したブース



衛星携帯電話などの説明を聞く来場者

問い合わせ先： 防災対策推進室  
TEL 076-233-4479